

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 22 号)

2023年 4月11日発行  
 兵庫のみ研究所

4月5日から8日にかけての断続的な降雨(地点:明石,合計39.5mm)後の調査でした。海域東部の地先では小型珪藻のレプトシリンドラス、スケルトネマが、海域西部ではキートセロス、レプトシリンドラス、ユーカンピアが確認されます。窒素は、鋼管漁場で3~8 μg-at/L台、新漁場で概ね1~2 μg-at/L台、二見漁場地先で2~4 μg-at/L台、沖筋で1 μg-at/L台、別府漁場以西では陸水の影響により概ね6 μg-at/L以上の値に上昇していました。

(水温) 漁場内平均13.4℃。昨年比1.4℃、平年比0.9℃ともに高い。(塩分) 平均31.95psu。前回(32.59)より0.64psu低い。  
 (栄養塩、珪藻) 海域東部の地先では、小型珪藻のレプトシリンドラス、スケルトネマ等が確認された。海域西部では、キートセロス、レプトシリンドラス、ユーカンピアが確認された。各海域のユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、林崎~二見漁場で0~7細胞(前回値:0~4細胞)、別府~高砂漁場で10~80細胞(前回値:10~90細胞)であった。  
 4月5~8日の降雨により、海域全般に栄養塩は増加しており、加古川河口~別府漁場沖では、陸水の影響により窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	12.2	13.4	12.5	12.0
窒素	2.5	3.1	2.9	3.0
リン	0.28	0.28	0.26	0.24

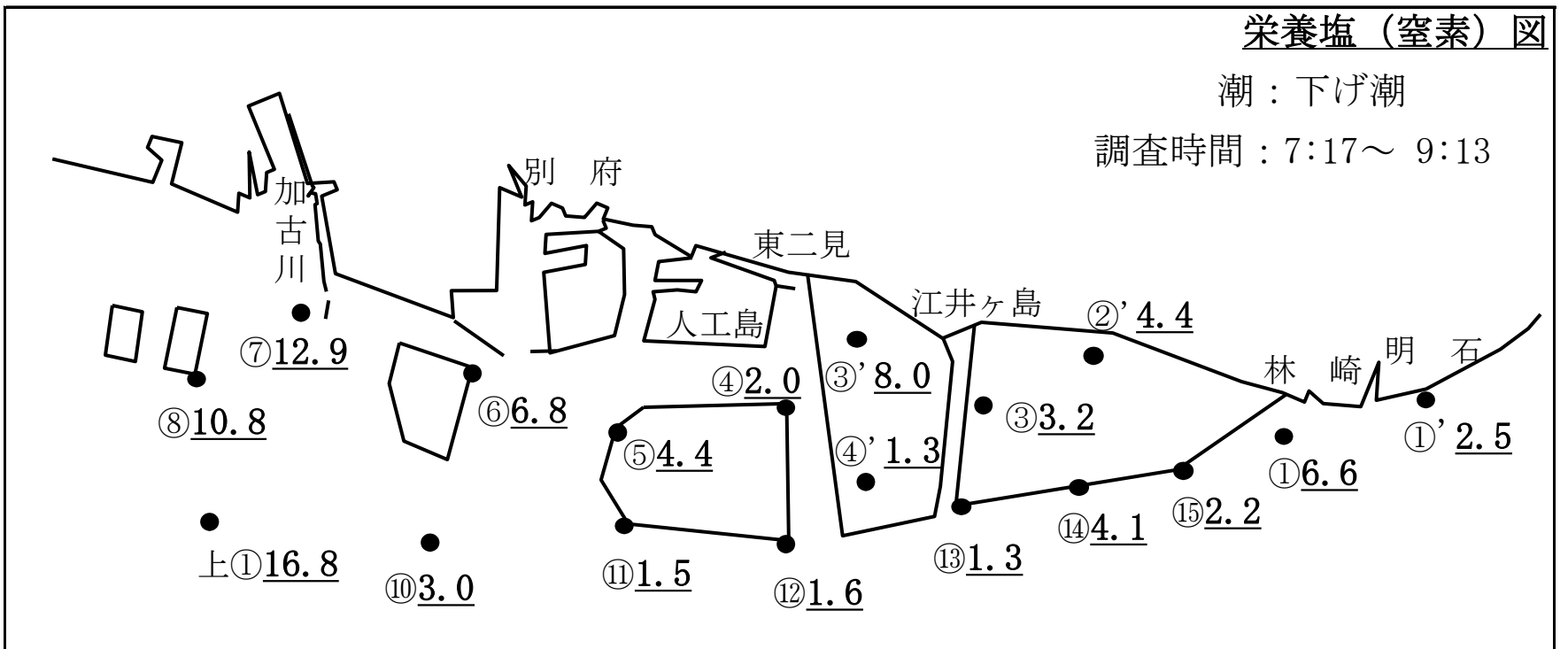
(4/3) ※窒素の平均は高砂を除く (4/8)

2023年 4月11日調査

## 栄養塩(窒素) 図

潮: 下げ潮

調査時間: 7:17~ 9:13



## 水温図

